

茨城県立総和工業高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

- 1 校訓である「智和憤」と「ものづくりは人づくり」を教育活動の基盤とし、心身ともに健康で、豊かな人間性を育てるとともに、確かな技術力と企業が求める「社会人基礎力」を身につけた優秀な工業技術者を育成する学校。
- 2 圏央道沿線の工業団地の発展に貢献できる人材を育成する、地域に根差した工業高校。
- 3 全教職員が資質向上に努め、魅力ある教育活動を推進し、生徒、保護者及び地域社会から確かな信頼を寄せられる学校。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<ul style="list-style-type: none"> ・教科間の横断的・総合的な学習をとおして、探究する見方や考え方ができる。 ・実社会における様々な課題について、主体的に判断し課題解決することができる。 ・他者の多様な考えを受け入れ協働的に学び、自分の考えをよりよくすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設定した課題について、様々な手段で情報収集ができる。 ・課題解決のために、自分の考え方をわかりやすくまとめている。 ・学習や活動の状況などを観察し、その記録により評価する。 ・プレゼンテーション発表などの表現方法を評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出身中学校との連携を図り該当生徒の実態を把握し、その情報を職員間で共有する。 ・個別に必要な支援方法を協議する。 ・カウンセラーに適切な助言を求める。

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ 課題研究 ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
3年 (課題研究)	<ul style="list-style-type: none"> ・工業に関する課題について、生徒自ら研究するテーマを設定することにより、思考力や探究力、自主性や発信力を身につける。 ・研究は個人又はグループにより研究・製作を行う。 ・成果の発表の場を設定し、製作した実物、スライド等を用い、効果的に行う。また、意見の交換を行う。 ・教員は、研究、製作の過程における主体的、協働的な取り組みを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究の各タイトルにおいて、関連する地元企業、進学実績のある大学および専門学校等と連携。 ・地元自治体が主催するイベント参加等による連携。 ・本校インターンシップ委員会の実施計画に関連した連携。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに健康で豊かな人間性を育てるとともに、確かな技術力と企業が求める「社会人基礎力」を身につけた優秀な工業技術者を育成する。 ・地域に根差した工業高校を目指し、地域社会の発展に貢献できる人材を育成する。